

高橋社長 殿

2025年8月28日

監査役 南 俊行

監査役 境 猛雄

第11期 中間監査実施結果報告

第11期事業年度上期の監査の結果を報告いたします。

I. 実施した監査の内容

1. 業務監査

- ① 部門長、従業員との面談の実施
- ② 取締役会、経営会議への出席、その他の監査活動
- ③ 必要に応じ資料の提出を求め、ヒヤリングを実施

II. 監査の結果

業務監査において下記の札幌本社、東京事務所、福岡店舗において、アンケート及び個人面談を実施。それに基づいての所感・要望事項についての実施を提言します。

III. 監査を終えての所感・要望事項等

1. 面談を終えての感想・要望事項

- ① 組織再編における担当、役割の明確化が定着しており、各人が役割をしっかりと自覚した意識改革が進んでいる
- ② 人事査定制度を導入したことで、人事評価の公平性と目標が明確になり、向上心を持って取り組めている。
- ③ 福岡店舗の設備面で一部老朽化に伴い業務に支障をきたしている面が確認された。早急にFC本部、施設管理者と協議し改修が必要
- ④ 部門や事業ごとの数値の見える化は進んでいるが、システムの改良やデータ数値の検証と改善が必要
- ⑤ 社内ルールや業務マニュアルの策定が実施されているが、そのチェック機能に不備がある。
- ⑥ ガバナンス強化（責任の所在も明確化）に向けた取り組みの実施
- ⑦ コンプライアンス教育の継続的実施の必要性
- ⑧ 管理者のレベルアップのための教育カリキュラムの継続的実施
- ⑨ 効果的な社内教育への改変（業務の継続性がそがれ、効率が低下している）
- ⑩ メンバーの現行ビジネス商流の理解が乏しく、課題や問題点などの発見が遅い
- ⑪ 中国など海外での展示会情報の不足
- ⑫ 日本人営業スタッフの必要性（国内商社との商談を円滑に進めコミュニケーションの拡大を図る）
- ⑬ PBブランドの検証と評価、改善が必要

2. 業務上の課題、確認事項

- ① 社内DX化に向けたシステム導入が進んでいるが、精度の向上と改善が必要で、現在も随時アップデートが行われているが、作業性・操作性の悪さが顕在する為、基本的な改善が必要、利益管理は必須条件。
- ② システムデータに基づく、在庫管理の徹底と実在庫の定期的な検証が必要
- ③ 資産、設備の有効かつ適正な運用

※ 参考資料としてヒヤリングメモを別途添付

ヒヤリングメモ

アンケートについての回答をまとめました。

●あなたご自身の事をお伺いします。

1) 現在のあなたは会社の中で充実感を感じていますか

9割の社員が、会社の中で充実感を感じているが、一部に否定的な意見もある。

2) あなたの現在の役割と業務は

ほとんどの社員が自身の役割と業務を理解しているが、一部社員は部署変更や営業方針の変更などで、自身のポジションに不安がある。

3) 業務の中で、成功事例と失敗事例を教えてください

成功例は、得意先やメーカーとの取引事例で効果が認められたものが多く、次回の商談での自信につながっている。

失敗例は、単純な確認作業のミスによるものが多く、欠品、納期の遅延、成約に至らなかった商談等

4) 現在、今の業務で困っていることはありますか

業務や作業、会議などに追われ本来の業務に取り組む時間に弊害を感じており、優先順の順番付けに戸惑うことが多い、また、部署間の連携、連絡があまり円滑ではなく、作業効率の悪化を招いているので改善してほしい。また、昨年導入した販売管理システムが、当社用にカスタマイズが完成していないので不便を感じる。その他、福岡店舗の老朽化での施設不備があり、改修が必要である。

5) 将来（5年先）のあなたはどのようになりたいですか。

大半の社員が各自の役割、目標の達成を重視しており、将来は各部署のリーダーになり、会社に貢献したいと考えていると感じられた。またその将来像に向けスキルアップに取り組む姿勢も受け取れた。しかし、一部の社員からは、現在の業務に追われ将来のビジョンを明確に持てないと回答もある。

6) 現在の職場は楽しくそしてコミュニケーションがとれていますか

全員が楽しい職場だと感じている。また、部署内やチームのコミュニケーションも取れているが、業務遂行上で他部署とのコミュニケーション不足が発生している。

●現在の会社に対する感想をお聞かせください

1) 会社の目標を正しく理解できていますか

企業ブランドの確立と企業価値の向上を目指し、利益を捻出できる創造性の高い企業になることを各自が理解しており、社長をはじめとした経営陣の理念実現に向け取り組みたいと考えている。

2) 新たな人事制度はどのように感じていますか。また、評価システムは理解できていますか。

ほぼ全員が理解しているが、「モチベーションになる。」、「目標や評価がわかりやすくなった」、「前向きな制度と感じる」との肯定的な意見のほか、「目標数値に疑問を感じる」、「結果主義でもう少し過程、姿勢なども評価にしてほしい」との回答もある。

3) 現在の業務システムはうまく活用できていますか。また、問題を感じているなら、どのような点を改善してほしいですか。

システム自体は活用されていますが、部署や業務内容によって機能や作業性が異なるため、使用頻度の高い部署からは、改善やカスタマイズの要望が多く出ています。

改善点、要望実例

- ・ MFとの連携に向け、データの一元化
- ・ 入力済データの訂正（数量、商品JANコード登録）が出来なくすべて破棄してからの再入力で不便
- ・ 得意先、仕入先、商品、月、年度別の集計が抽出できる機能が必要では非追加してほしい

- ・赤伝処理ができない
- ・小数点以下の入力ができない
- ・粗利益集計や在庫集計がリアルタイムで表示されず時間がかかる。

4) 現在の組織や体制に満足していますか。していないと感じる方はどのような事ですか

概ね現体制に不満ないが、他部署との調整や会社全体を管理、指示できる役職がないことで連携がスムーズに取れていないと感じる社員も複数おり、業務フローにおいて、Wチェックや管理ができていないことがある。

5) あなたは、将来、北海道開発はどのような会社であれば良いと思いますか

信用と信頼を得ながら社会的な存在価値を生み出す企業として、北海道の文化、産業の発展に寄与できる100年企業をめざしたい。従業員が働きやすい労働環境を整へ、人と地域を大切に共に成長する企業になりたい。北海道のトップブランド企業になり、従業員が誇りと使命感を持てる企業となり北海道に貢献していきたいなど、前向きな回答が多い。